

1 目的

地域住民の日常生活の移動手段の確保のため、不採算路線の補助や委託運行によりバス路線を維持しているが、利用者の減少や維持コスト増大など課題も生じている。

岡崎市地域公共交通網形成計画に示すバス路線の評価・検証を行うことで、公的資金投入の妥当性や地域のニーズ、利用実態にあった運行となるように改善を図る。

2 評価実施機関

バス路線評価審査会（岡崎市交通政策会議設置要綱の規定による）

3 バス路線評価審査会委員

交通政策会議委員（座長、副座長、市民及び利用者代表（岡崎商工会議所交通部会長、岡崎市総代会連絡協議会会長、岡崎市老人クラブ連合会会長、岡崎市障がい者福祉団体連合会会長、岡崎市六ツ美商工会会長、額田地域生活交通協議会）、交通事業者（名鉄バス(株)、名鉄東部交通(株)、都市整備部長）、交通政策室長

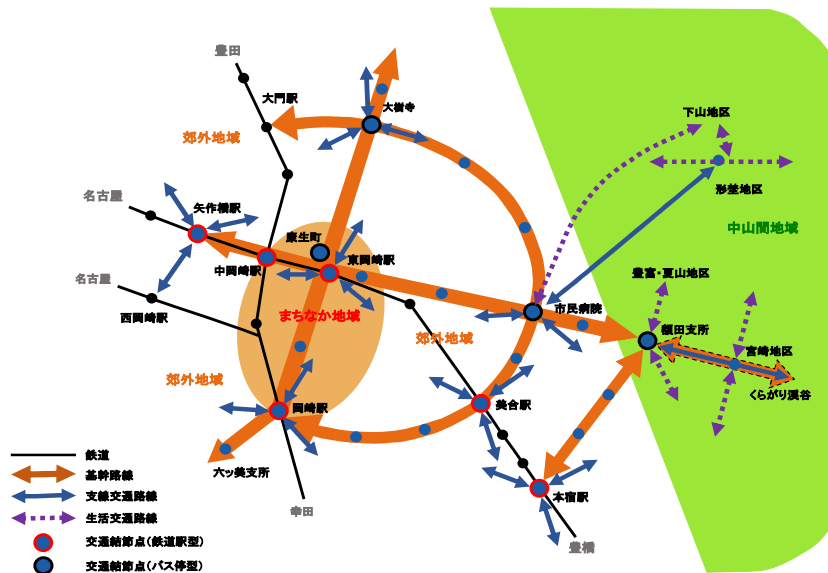
4 評価対象バス路線

本市内で運行する全てのバス路線

■路線区分

基幹路線		市内の主要な交通結節点を結ぶ軸となる路線
地域内交通路線	支線交通路線	基幹路線と交通結節点で接続し、バスネットワーク構成上必要性が高く、一定の需要が見込まれる地域へ運行する路線
	生活交通路線	支線交通路線と接続し、地域住民が主体となって運行する路線

■路線区分イメージ



5 評価方法

(1) 定量評価

路線区分により数値基準を設定し評価を行う。

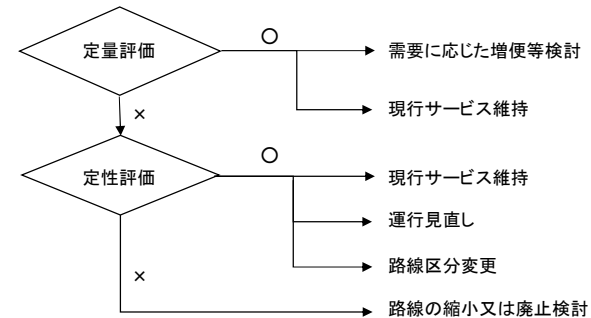
項目	基幹路線	地域内交通路線	
		支線交通路線	生活交通路線
収支率	50%以上	25%～50%程度	25%以上
1便当り利用者数	15～20人/便	5～15人/便	1～3人/便
利用率	—	1.0%以上	1.0%以上

(2) 定性評価

路線や沿線地域の特徴など数値のみでは評価できないものを「沿線住民」や「行政」の視点から評価を行う。

- 沿線住民としての必要性
  - ・地域のバスを支える意志の有無
  - ・利用者数の推移
  - ・利用率の推移
  - ・運行見直しによる収支率・利用者数改善の可能性の有無
- 行政としての必要性
  - ・公共交通ネットワーク上の役割
  - ・他の施策への影響の有無

6 評価フロー



7 見直し（評価）のサイクル

1年の改善措置及び3年間のPDCAサイクルのなかで利用状況等をアウトプットしながら評価を行い、運行の改善を図る。

■見直し（評価）PDCAサイクルのイメージ

